

編集後記

『年報 太宰府学』第六号をお届けします。

橋富氏の論考は、元秋月藩お抱え絵師で晩年を太宰府で過ごした齋藤秋圃についての新出資料である画稿の紹介と分析です。また、八尋氏の論考は、齋藤秋圃像三点の分析です。いずれも齋藤秋圃に関する新知見を発表したもので、大きな発見というべきものです。今回発表された齋藤家所蔵の画稿は、当市にとって大変な財産でありますので、資料保存について今後検討していければと考えております。

三村氏の論考は、大内時代の御笠郡代・岩屋城督について、特にこれまで指摘されていない千手興国を中心に分析したものです。また、前号の今川了俊関係のものに引き続き、川添氏と朱雀との共編で九州探題文献目録を掲載いたしました。今後の研究の進展にいくばくかでも寄与できれば幸いです。

現在、当室は太宰府学を研究することと、行政文書を保存整理することを目的とした「太宰府アーカイブ」の設置へと舵を切りました。今後は本誌でも歴史研究だけでなく、行政文書に関わる論考も積極的に掲載していきたいと考えております。本号ではその手始めとして、重松執筆の「太宰府市史編さんの概要」を掲載しました。

さて、第六号の編集・刊行を終えて、これまでを振り返ってみますと、わたくしたちが当初、この『年報 太宰府学』創刊時に目指した太宰府学の構築が徐々に形を成してきたという思いを強くします。同時に、さまざまにお支えをいただいているみなさんの期待に応えるべく、編集・刊行に携わっている側として身の引き締まる思いも感じています。今後とも相変わりますせず、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(S)

年報太宰府学 第六号

発行日 平成24年3月31日
編集 太宰府市市史資料室

〒818-0133

太宰府市国分四丁目九一

太宰府市文化ふれあい館内

電話〇九二一九二二—二三三二

E-mail:city-shish@city.dazaifu.lg.jp

発行 太宰府市
印刷 株式会社博多印刷

〒812-0028

福岡市博多区須崎町八番五号

電話 〇九二二八一一〇〇四一